

田口佳史さんに問う 中国古典【老荘思想】



講師

東洋思想研究家
株式会社イメージプラン代表取締役社長

田口 佳史 Yoshifumi Taguchi

困難な時代に向き合うための知恵

仕事でも人生でもうまくいっているときは、基本的に何も変える必要はありません。問題が生じない限りどんどん進めばよいのです。しかし、時代の転換期や自分ではどうにもできない困難にぶつかったときには、やり方や考え方を180度変える必要があります。いま、私たち日本はそんな革新の時にあるのではないのでしょうか。

「老荘思想」には、閉塞感に包まれた時代にあって、人生を「苦」から「楽」へと転換するためのヒントがあります。目先のことに煩わされることなく、しがらみに絡めとられることなく、困難をさりりと受け止める絶対自由な境地をめざしてみませんか。

田口 佳史

4/9 月

第1回

18:30～21:30

グローバルを越えた 視点を養う

天下の万物は有から生じ、有は無から生ず

グローバル化の進展は、世界の富を増大させる一方で、環境や食糧といった国際問題をも増幅させています。いま私達に必要なのは、グローバルを越えたもう一段広い視座を持つことです。宇宙から地球を眺めるような広大無辺な無限の見地から、物事の本質を捉え直します。

4/23 月

第2回

18:30～21:30

共生融合の思想を持つ

水は万物に利して争わず

「対立・競争」から「共生・共創」へと、社会の舵取りが変わりつつあります。組織と個人がともに一歩進んで、自分にこだわらない精神的成熟が求められています。自分の主張や形を持たないことで、相手に合わせ、良い点を取り入れ、エネルギーを与え合う、共生融合の思想を考えてみます。

5/14 月

第3回

18:30～21:30

人と組織の有機性を 理解する

陰陽和して元となす

組織も個人も日々刻々と変化し、成長し、再生を繰り返しています。全ての物事が相互に依存し合い、影響を与え合う動的な存在でもあります。人と組織が有機体であることを認識し、感情・感性といった不可思議なものをも取り込んで、ダイナミズムを作り出す重要性を理解します。

5/28 月

第4回

18:30～21:30

のびやかに発想を 転換する

逍遙に遊ぶ

あらゆる組織と立場で発想の転換が叫ばれています。しかし変えることには、必ず痛みと不安がつきまとい、それゆえ変革は難しいものとされます。しがらみを越えて、自由にのびやかに無限の発想を切り拓き、価値転換を謳いあげる老荘思想から発想転換を学びます。

6/11 月

第5回

18:30～21:30

とらわれない生き方を 目指す

大鵬の如く飛べ

人は誰もさまざまな悩みを抱えながら生きています。悩みからの解放は、人類永遠の課題とも言えるでしょう。悩みにとらわれずに生きるためにはどうすればよいのでしょうか。老荘思想に散りばめられた珠玉の言葉を頼りに、大いなる達観の境地に挑みます。

6/25 月

第6回

18:30～21:30

絶対自由の境地を 求めて

生を養う

生まれたからには愉快的な人生を生きたいものですが、そのコツはどこにあるのでしょうか。老荘思想は、自分と他者との相対的な相違や、人間を区分差してみることを否定します。自分を縛るさまざまな因果を超越した、絶対自由の境地を考えます。

“腹に落ちて”学ぶ

老荘思想は、頭で理解するものではなく、“腹に落ちて”学ぶことを重視します。40年以上にわたり中国古典思想の研究と普及に従事してきた田口佳史さんに導かれながら、「老荘思想」の本質を現代の諸問題に関連づけ、納得するまで問答します。

「老荘思想」とは

中国で生まれた代表的な思想のひとつで、「老子」「荘子」が大家であることから「老荘思想」と呼ばれます。「道」(タオ)と呼ばれるキーワードを軸に思想を展開するので、「道家思想」という呼び名もあります。同時期に生まれた「儒家思想」(孔子・孟子)と並んで、中国の政治や社会に大きな影響を与え、日本では、禅の教えや茶道とも共通する点が指摘されています。

これまでに開催した講座が書籍になりました。

- ・『孫子の至言』光文社(人生の戦略書・孫子、2011年開催)
- ・『老子の無言』光文社(老荘思想、2010年開催)
- ・『論語の一言』光文社(論語に学ぶ人間力、2009年開催)

講師プロフィール

田口 佳史(たぐち よしふみ)

1942年東京生まれ。新進の記録映画監督として活躍していた25歳の時、タイ国バンコク市郊外で重傷を負い、生死の境で「老子」と出会う。奇跡的に生還し、以降中国古典思想研究四十数年。東洋倫理学、東洋リーダーシップ論の第一人者。企業、官公庁、地方自治体、教育機関など全国各地で講演講義を続け、1万人を超える社会人教育の実績がある。1998年に老荘思想的経営論「タオ・マネジメント」を発表、米国でも英語版が発刊され、東洋思想と西洋先端技法との融合による新しい経営思想として注目される。主な著書に『孫子の至言』(光文社)、『リーダーの指針「東洋思考」』(かんき出版)ほか多数。

開 催 概 要

日 程	2012年 4/9、4/23、5/14、5/28、6/11、6/25 (すべて月曜日)
回 数	6回
時 間	18:30 ~ 21:30 (3時間)
定 員	25名
会 場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	105,000円(税・教材費込)
お勧め したい方	・「老荘」の思想・考え方をビジネスや人生に役立てたい方 ・生きる上での哲学や価値観の重要性を認識し、醸成したい方

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項をご記入の上、FAXにて送信して下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。本申込書の受領をもって、その内容を承諾いただいたものと見なします。

参加者

講座名	
会社・団体名	
所属	
フリガナ	
氏名	
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒
TEL	-
FAX	-
e-mail	

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはなりません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報の提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<http://www.keiomcc.com/keiomcc/privacy.html>
なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等がございましたら、右記までお問い合わせください。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度 (個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 この欄に他講座を記入して下さい [] <input type="checkbox"/> 継続受講割引 <input type="checkbox"/> 慶應カード割引
--

■割引制度(個人)

【複数申込割引】…一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先端・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。(『夕学五十講』を除く。)
◆20%割引:105,000円(税込)以上の、「Agora」および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引:上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】…過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内にお申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。(『夕学五十講』を除く。)
過去に法人名義で参加された方も、個人で申し込む場合は対象となります。
【慶應カード割引】…慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

「Agora」およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(『夕学五十講』を除く。)詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2
三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111
E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。お預けください。
ご不要の方は右記にチェックをお願いします。